

平成26年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
宇陀市	宇陀市立榛原西小学校

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

本校校区は自然豊かな地域で保護者の学校教育に対する関心も高い。本校における学校・地域パートナーシップ事業は「つながろう西小コミュニティ」をテーマに、本校地域・保護者の皆様の協力を得て、子どもたちが地域の自然や人々と関わりながら、「環境・健康・文化・労働・人権」基本コンセプトに、子どもたちがたくましく豊かな学びができる環境づくりを、学校と地域が協働して整え推進していくことをねらいとしている。

2 取組の概要

本校の学校・地域パートナーシップ事業の取組の一つとして、地域在住で農業に従事している方のご指導をいただいた「カモ米作り」体験に取り組んだ。校区内の田の所有者の方とアイガモを貸して下さる方のご協力とご指導のもと、5年生の子どもたちが田植えやカモの世話をし、秋には稲刈りや脱穀の体験をし、できたお米を調理しての感謝パーティーを行った。



<カモ米作り体験>

<裁縫学習支援>

<チャンクの演奏>

ほかにも、家庭科の裁縫学習で地域の方々に学習支援をしていただいた。地域の経験豊かな方々に来ていただき、子どもたち一人一人に寄り添うようにきめ細かな指導・支援をいただくことで、子どもたちが安心してより確かに裁縫技能習得をすることができた。

また、放課後「みんなの広場」では、韓国の方を講師に招き、チャンクの演奏などを通して国際理解や交流を深めた。11月には榛原西小学校のなかま集会でチャンクの演奏を発表した。また、1月には「つながろう奈良県学校コミュニティの集い」で本校の地域との関わりを紹介するとともに、チャンクの演奏を迫力いっぱい発表した。この教室では、異文化理解の一環として韓国料理のチヂミ作りも行った。今では日本でもポピュラーな料理で、子どもたちは楽しく交流し学習することができた。